

令和8年3月吉日

関係者各位

北海道難病診療連携拠点病院
国立病院機構 北海道医療センター
難病診療センター長 新野 正明

RDD2026 in 北海道『難病と暮らし～“難”と共に・“難”の先へ～第4弾』のご案内

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より北海道難病医療提供体制整備事業及び、北海道移行期医療支援体制整備事業にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、北海道難病診療連携拠点病院 北海道医療センター 難病診療センター、北海道移行期医療支援センターでは、移行期医療に携わる関係機関と共催にて RDD(Rare Disease Day)2026 in 北海道『難病と暮らし～“難”と共に・“難”の先へ～第4弾』を開催いたします。

つきましては、北海道医療センター公式 YouTube より配信致しますので、是非ご視聴頂きたくご案内申し上げます。

敬具

記

昨年に引き続き、今年も「移行期医療」がキーワードです。近年、小児医療の分野では医療技術の進歩により生命予後が改善し、多くの小児患者が、成人を迎えるようになりました。大変喜ばしい一方で、新たな合併症や成人期特有の疾患発症の可能性をかかえながら小児科で思春期・成人期を迎える患者様が多くなってきています。しかしながら、このような患者様に対し、小児医療も成人医療も、必ずしも適切な医療を提供できておらず、現在日本では、小児科から成人診療科への適切な橋渡し・移行の必要性がさげばれています。

今回は、「こどもの慢性疾患 『小児科』と『成人科』の違いを知って適切な医療へつながろう」をテーマに、色々な分野の先生がお話をお届けします。

大人になっていく君へ、そして保護者の方へ、支援者の皆様へ、“成長にあわせた適切な治療やフォローアップ”を受け続けるために大切なことについて一緒に考えていきましょう。

「ともに、すごす。ともに、つくる。ときに、わらう。(RDD Japan 2026 公式テーマ)」を目指して。

RDD2026 in 北海道『難病と暮らし～“難”と共に・“難”の先へ～第4弾』

- 1.日 時 令和8年3月4日(水)～ 公開
- 2.内 容 別紙プログラム
- 3.視聴方法 北海道医療センター公式 YouTube より配信 (下記 QR コードよりご視聴頂けます)



【血液・腫瘍】



【先天性代謝異常】



【慢性腎疾患】



【慢性心疾患】



【医療的ケア】

連絡先 札幌市西区山の手5条7丁目1-1
国立病院機構北海道医療センター
難病診療センター 難病医療相談室
難病診療連携コーディネーター 坂野 恵子
TEL・FAX：011-611-5066